

商業施設における事故情報収集手法の効率化

森ビル株式会社

プロジェクトの目的

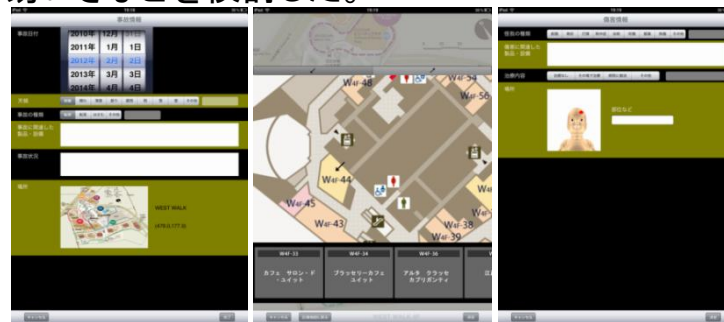
- ・ 商業施設における事故や怪我の発生状況に関する情報収集は、再発防止にとって重要であるが、お客様への時間的、心理的な負担となったり、詳細な場所を聞き取ることが難しいという問題がある。
- ・ 商業施設で起きた事故について、簡単に正確に状況をヒアリングできるソフトウェアの開発を行う

実施方法

- ・ 六本木ヒルズで事故や怪我の生じた際に、発生状況などを聞き取るのに使用している記録シートと、産業技術総合研究所が開発した病院用傷害サーベイランスシステムをベースに、入力項目を選定し、入力方法などを検討し、実際のシステムとして開発し、過去の事故や怪我のデータを入力して、入力し易さなどを検証する。

結果

- ・ iPadを入力端末として、データをサーバーに集約する事故情報収集システムを開発した。
- ・ 事故が発生した場所については、施設マップから指定でき、詳しい位置やその事故に関連した製品の写真を取り込めるようにした。
- ・ 傷害部位については、身体地図情報システムと連携したシステムを開発した。
- ・ 今まで集めてきたデータを開発システム入力することで、使い易いさなどを検討した。



今後の展望・展開

- ・ 検証で挙げた以下の改善点などをふまえて、商業施設での事故情報を効率的かつ予防に役立つ情報収集システムへと発展させたい
- ・ 事故予防につながる情報を収集するための事故や怪我の種類、状況に特化した項目の追加・検討
- ・ 他の施設でも使えるように、地図や写真を簡単に入れ換えられる機能